

令和8年度 レポート評価票

|       |       |     |           |      |      |     |   |
|-------|-------|-----|-----------|------|------|-----|---|
| 科目コード | 34370 | 科目名 | 保育・教職実践演習 | 設題番号 | 設題 1 | 単位数 | 1 |
|-------|-------|-----|-----------|------|------|-----|---|

|      |    |     |   |      |  |  |  |
|------|----|-----|---|------|--|--|--|
| 学籍番号 |    | 所属  | 集団学習者のみ記入   |      |  |  |  |
| 氏名   |    | 専攻  | 幼児専攻  | 保育専攻 |  |  |  |
| 提出回数 | 初回 | 再提出 | <input type="checkbox"/> 不合格レポートは添付しません<br>※ 前回レポートが旧設題・紛失の場合のみチェックを入れてください |      |  |  |  |

⑧ 1科目に2設題以上の出題がある場合、どちらか片方の設題のみの提出は認めません。再提出の場合は、前回提出レポートを添付している場合のみ、不合格設題を修正したものを提出することが可能です。再提出の際に、前回提出分から設題変更になっている場合、もしくは前回提出分を一部でも紛失した場合は、科目ごとの設題すべてを再作成し、「不合格レポートは添付しません」にチェックを入れてください。

| 評価 | 合格 | 不合格(再提出) |      | 添削者 |
|----|----|----------|------|-----|
|    |    | レポート     | 用語解説 |     |

【論文作法】※2つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。

| 評価規準   | 良く書けている(A)  | もう少し(B)                                       | 要書き直し(C)                                   |
|--|---|---|--|
| <b>論文作法①</b><br>指定されている文字数で書くことができる。             | 指定された文字数の±1割(900~1,100字)の範囲内で書かれている。                          |   | 指定されている文字数の9割に満たない。または、1割を超過している。          |
| <b>論文作法②</b><br>設題を理解して書くことができる。                 | 設題の意図しているところをよく理解し、要点を落とさずに論述されている。                           | 設題についての理解が不十分で、論述されていない内容がある。                 | 設題の意図が全く理解できておらず、自分勝手な論述である。               |
| <b>論文作法③</b><br>フォーマルなレポートに適した文体、正確な文字で書くことができる。 | レポート全体を通じて、「である調」で、丁寧な文字で書かれており、誤字脱字も全くない。                    | レポート全体を通じて、丁寧な文字であるが、話し言葉も少し含まれており、誤字脱字も少しある。 | レポート全体を通じて、話し言葉も多く含まれており、誤字脱字も多くある。        |
| <b>論文作法④</b><br>正確に読み手に伝わる文章表現ができる。              | 段落を工夫し改行して論を展開したり、記号を使ったり図表を貼付したりするなど、容易に内容が理解しやすい表現の仕方をしている。 | 段落が少なく改行も少ないなど、表現方法に工夫が少なく、内容が読み取りにくい。        | 改行もなく書きつづられていたり、文脈につながりがなかったり、全く内容が理解できない。 |

【内 容】※1つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。

レポート(1,000字)

| 評価規準   | 良く書けている(A)   | もう少し(B)   | 要書き直し(C)                               |
|--|--|---|--|
| <b>内容(レポート)①</b><br>接続期のカリキュラムの意義や重要性等について適切に説明されている。  | 接続期のカリキュラムについて、子どもの発達や学びの連続性からその意義や重要性等について適切に説明されている。               | 接続期のカリキュラムについて、子どもの発達や学びの連続性からその意義や重要性等についての説明が不十分である。              | 接続期のカリキュラムの意義や重要性等について、ほとんど説明ができていない。  |
| <b>内容(レポート)②</b><br>「幼児期に育みたい資質・能力」について適切に説明されている。     | 小学校以降の子どもの発達を見通しながら、「幼児期に育みたい資質・能力」を育むことが大切であること等が適切に説明されている。        | 小学校以降の子どもの発達を見通しながら、「幼児期に育みたい資質・能力」を育むことが大切であること等の説明が不十分である。        | 「幼児期に育みたい資質・能力」について、ほとんど説明ができていない。     |
| <b>内容(レポート)③</b><br>「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について適切に説明されている。 | 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は「幼児期に育みたい資質・能力」が育まれている幼児の具体的な姿であること等が適切に説明されている。 | 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は「幼児期に育みたい資質・能力」が育まれている幼児の具体的な姿であること等の説明が不十分である。 | 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について、ほとんど説明ができていない。 |

用語解説(500字)

| 評価規準                                | 良く書けている(A)                            | もう少し(B)                                    | 要書き直し(C)                               |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| <b>内容(用語解説)</b><br>用語解説が適切に説明されている。 | 指示があった用語すべてに解説がされており、適切かつ簡潔にまとめられている。 | 指示があった用語すべてについて解説されているが、用語の理解、解説がやや不十分である。 | 用語解説が、設題の必要数を満たしていない。もしくは用語の解説が不適切である。 |

【その他指摘事項】

|  |
|--|
|  |
|--|